

令和元年9月31日

日進市立日進西中学校保護者各位

日進市教育委員会 教育長 久保田 力
日進市立日進西中学校長 平山 雅之

平成31年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

秋分の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

見出しの調査は、3年生の生徒を対象として、国語・数学・英語について、その学力の一部を「知識」「活用」といった観点から調査したものです。また、生徒の学習意欲や生活習慣等についても、質問紙によって調査を行いました。この度、市全体と本校の傾向をまとめましたので、その概要をお知らせいたします。基礎・基本の一層の徹底を図るとともに、調査結果を今後の学習指導に生かしていきたいと考えております。ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 日進市全体の結果について

国語、数学、英語とも、全国・愛知県の結果より、平均正答率が高くなっています。

(1) 国語

どの領域・観点においても学力の十分な定着がみられます。特に、「目的に応じて内容を整理して書く」能力に優れています。

さらに学力を定着させるためにはどのような方策・工夫が必要であるか、各学校での分析・研究を通して、より良い教育活動につなげていきます。

(2) 数学

どの領域・観点においても学力の十分な定着がみられます。特に、基本的な計算技能、方程式の解法、関数の基礎の理解について優れています。今後も、さらに基礎、基本的な知識・技能の定着を図っていきます。

そんな中、「グラフから式を求める」「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」などの「数学的な技能」の面で課題がみられます。今後は情報を整理して言葉、数、式を用いて考え、説明するような数学的活動をよりいっそう充実させていきます。

(3) 英語

すべての分野、観点において高い定着がみられます。今後も、言語や文化についての知識・理解を深めながら、外国語を積極的に使って表現する学習の工夫を行っていききたいと考えています。

(4) 生活面

自己肯定感が高く、「学校の規則を守る」など規範意識を大切にしている割合が高くなっています。さらに「人の役に立つ人間になりたい」と感じている生徒の割合も高くなっています。また、授業の予習、復習に力を入れるなど、学習習慣が身に付いています。今後も学校生活をより充実させていく取組を学習・行事を通して進めていきたいと考えています。

また、地域・社会の問題や出来事に関心をもっているものの、地域の行事に参加している生徒の割合は低い傾向がみられます。地域や社会の中でどう自分に関わっていくかを考え、地域や社会に貢献できる人物になれるような活動に取り組んでいきます。

※ 裏面に本校の結果を載せました。ご覧ください。

2 日進西中学校の結果について

(1) 国語

「書くこと」「読むこと」の領域・観点において全国・愛知県の結果と、平均正答率が同等数になっています。しかし、「話すこと・聞くこと」や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では課題が見られました。そこで「文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えをもつこと」や、「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つこと」など、多様な見方や考え方を取り入れる力や、言語表現において、正しく適切な活用の仕方を身に付ける力を伸ばす学習の工夫が必要であると考えています。

(2) 数学

全ての領域・観点において全国・愛知県の結果より、平均正答率が同等数または低くなっています。特に、「図形」「関数」の領域で課題が見られました。資料や図形の傾向を適切に捉えたり、結論が成り立つための前提を考えたりするなど、新たな事項を見出したり、数学的な表現を用いて説明したりする力の定着が必要です。さらに、基礎・基本や既習の知識を活用し、数学的な見方や考え方を伸ばす工夫が、今後必要であると考えています。

(3) 英語

「読むこと」の領域・観点において全国・愛知県の結果より、平均正答率が高くなっています。中でも「外国語理解の能力」の正答率が高く、外国語を読んで理解する能力の高さが見られます。

しかし、「聞くこと」の領域では課題が見られました。語と語の連結による音変化をとらえることや、日常的な話題について正確に聞き取る力を身に付ける学習の工夫が必要であると考えています。

また、「話すこと」では、基本的な文法を活用して応答する力や、与えられたテーマについてまとまりのある内容を話す力が身に付いています。「聞くこと」と「話すこと」を一体としてとらえた指導の工夫が必要であると考えています。

(4) 生活面

「自分には、よいところがある」と考えている生徒は全国・愛知県に比べて高い傾向にあり、自己肯定感の高さがうかがえます。自己肯定感が高いと物事に取り組む意欲や幸福度にも大きな影響を与え、様々な出来事に対して積極的に取り組むことができ、幸福度も高まります。また、そのままの自分を認める感覚であり、「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在だ」と思える心の状態であることから、自分だけでなく、他者や周りも尊重することができます。また、「家の人と学校での出来事について話す」「教師が良いところを認めてくれる」「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、嬉しかった」「学校に行くのは楽しい」生徒も多く、家庭や学校生活の中で、お互いに認め合う関係が作られていると考えます。

学習に関しては、「国語や数学の勉強が好き」である生徒は全国・愛知県に比べて高い傾向にありますが、「家で自分で計画を立てて勉強する」「1日30分以上読書をする」「新聞を読む」という生徒は全体の半数以下であることから、普段の学校生活の中で少しでも読書をする機会を増やし、自身で計画的に学習を進める習慣作りを進めていく必要があると考えています。

また、「英語」に対して大切だと感じているものの「外国の人と友達になったり外国のことについて知りたい」「日本や地域について外国の人に知ってもらいたい」「将来英語を使う生活をしたり職業に就いたりしたい」と答える生徒は全国・愛知県に比べて低い傾向にあるため、今後は広い視野をもち、地域や社会に目を向け、互いの文化の違いや良さを認め合い、自ら地域社会について自主的に考え、行動する生徒の育成に努めていきたいと考えています。